



ほっぴ通信



令和6年6月
NO. 3

管理者 田口 こずえ

あっという間に春が過ぎ去り、季節はもうすぐ梅雨に変わります。ほっぴの壁面には皆で制作したかわいいカエルやアジサイが飾られました。6月に入ると雨の日が多く、気候の変化があり、室内での活動が多くなる季節です。室内でも身体を使った活動を取り入れながら活動していきます。季節の変わり目は体調を崩しやすくなります。体調管理に気を付けながら、今月も楽しく活動していきたいと思えます。

市内ではインフルエンザ、コロナウイルス感染症が流行しています。引き続き「うがい・手洗い・消毒・換気」の感染症対策をおこなっていききたいと思えます。

6月の予定

- 6月 1日 (土) パラバルーン遊び
- 6月 8日 (土) 防災公園に行こう
- 6月 15日 (土) クッキング(焼きそば) **お弁当不要**
- 6月 22日 (土) 万華鏡作り
- 6月 29日 (土) アジサイを見に行こう

●佐々木作業療法士 相談、来所日

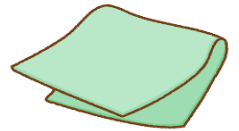
6月10日(月)6月24日(月)7月8日(月)

リハビリや機能訓練等についてお気軽にご相談下さい。



おねがい

外での活動も増えてきているので、帽子やタオル、お着替えの補充をお願い致します。



公認心理師コラム ～『子どもたちの自己肯定感を育む』～

自己肯定感は、子どもたちが日々直面する困難に立ち向かう力や挑戦する勇気を与えてくれることから、学業成績や身につけるべき社会的スキルにも良い影響を及ぼすことが科学的に証明されています。

～ポジティブな言葉かけ～

～成功体験の積み重ね～

～感情の受容と共感～

日々のコミュニケーションの中で肯定的な言葉を使うことは、自己肯定感を高める鍵になります。「できない」という言葉を「まだできない」と言い換えるだけで、子どもたちの努力を認め、成長の余地を示すことができます。



小さな成功を積み重ねることで、「ぼく(わたし)でもできる!」「これを重ねていけばいつかできる!」といった自己効力感が高まります。「お片付け」をするにしても、やることを小さく分割し、ひとつひとつステップを踏んでいきます。自分の力で成し遂げたときには、達成を認め、褒めてあげることが大切です。



子どもたちの感情をそのままに受け入れ、共感を示すことで、自身の感情を大切にすることを学びます。「学校(ほっぴ)を休みたい」といった言葉でもいったん受け止め、感情を否定せず「どうしてなの?」と理解しようとする姿勢は、子どもたちの自尊心を育みます。



子どもたちが自分自身を価値ある存在として認識し、自信を持つことは、健全な成長と発達の基礎になります。

ほっぴでは、子どもたちが自己肯定感を育むための言葉かけや促し、安全・安心な環境の提供を心掛けています。

ご家庭でもまずは『一日ひとつの(自己肯定感を育む)声掛け』からはじめてみてください。

放課後等デイサービスの様子



体幹トレーニングもこんなに出来るようになりました！



お外でもいっぱい遊んでいます♪



オリジナルデザイン作り



シャボン玉いっぱい♪



ショートステイの様子



みんな仲よし♪

5月の壁画

5月は『鯉のぼり』を制作し青空に飾りました♪



特定非営利活動法人セミナーレ
 住所；気仙沼市本吉町登米沢 24 番地 1
 TEL:0226-25-7710 FAX:0226-25-7764
 Mail : seminare@iaa.itkeeper.ne.jp
 HP : seminare-kesenuma.or.jp